



# 県中いわて

令和2年7月1日/第250号

- 発行/岩手県中学校長会 ●代表/菊池 正樹(盛岡市立厨川中学校) ●事務局/〒020-0885 盛岡市紺屋町2-9 (盛岡市勤労福祉会館2F)/電話・FAX 019(622)0572 ●ホームページ <https://www.iwate-jh-kochokai.jp/>  
●印刷/杜陵高速印刷/電話019(651)2110

## 第58回岩手県中学校長会総会(4月24日 書面による議案送付)

### 一枚岩となって、叡智を結集し、力を合わせる県中校長会を目指して

岩手県中学校長会 第50代 会長 菊池 正樹(盛岡市立厨川中学校)



令和2年度第58回岩手県中学校長会総会につきまして、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかり、総会を中止いたしました。会員相互の協調と連携を基調に、中学校長としての職能の向上を図り、本県教育の振興に寄与することを目的としている本会にお

いて、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組を、一層強化し、進めなければならない状況において、情報交換や危機的状況に立ち向かう決意を確認するために、県内中学校長が一堂に会する総会を開催することは大きな意義があると考え、最後まで総会開催の道を模索いたしました。しかしながら、国の緊急事態宣言を受け、生徒や教職員の命を守るということを最優先として、総会を中止する判断をいたしました。会員の皆様のご理解と、これからの県中学校長会としての果たすべき役割へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、本来であれば、岩手県教育委員会教育長佐藤博様、岩手県市町村教育委員会協議会会長千葉仁一様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、県中学校長会及び会員へのご指導、ご鞭撻をいただくところでした。総会では中止といたしましたが、今後とも、変わらぬご支援をいただければ幸いと存じますので、よろしくお願いいたします。

さて、この3月をもってご勇退されました、小野寺昭彦会長をはじめ38名の会員の皆様には、30有余年の長きにわたり、本県教育の充実・発展への多大なご貢献をなされました。また、私ども後輩を温かくご指導いただきますとともに、本会を力強く牽引していただきました。会員一同、心から感謝を申し上げますとともに、これからは私ども後輩に対しまして、ご指導を賜りますようお願いを申し上げます。

そして、4月から新たに会員となった32名の皆様、心から歓迎を申し上げます。新会員の皆様方には、これまで積み重ねてこられました豊富な教育実践をもとに、校長としての学校経営に、そのお力を存分

に発揮されますよう、ご期待を申し上げます。また、本会の目的でもある、「岩手の教育の振興に大きく寄与する」ことができますよう、手を携えて共に歩んで参りましょう。

新しい時代、令和となり2年目を迎えました。来年度は、新しい学習指導要領が全面実施となります。「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラムマネジメントの充実」などの推進に向け、各学校とも着実な準備や実践を進めてきていると思いますが、今年度はその最終段階の年となります。各学校では、部活動の在り方や働き方改革などへの対応も推進していかなければなりません。さらには、いじめや不登校、SNSを起因とした様々な問題への適切な対応も求められています。本当に様々なことへの対応、そして多くのことを求められる学校の状況がありますが、それは、保護者や地域が学校に寄せる期待の大きさでもあると思います。子どもたちの美しい未来のため、学校はその求めに応じ、期待に応えていく責務があると思います。私たち校長は、その責務を果たすことができる学校づくりを推進してリーダーシップを発揮するために、情報を交換したり、連携したりすることこそが大切であると考えます。

震災から9年が経過しました。「震災津波を乗り越え、未来を創造していくために、10年後、20年後のいわての復興・発展を担う子どもたちを育成することが、岩手の教育の使命」としてこれまで取り組んで参りましたが、来年は10年という節目を迎えます。震災直後、想定外の困難な状況の中、如何にして被災地に手を差し伸べるか、その最善の方策を考えて取り組んだ「横軸連携」。その志は脈々と本会に受け継がれています。これまでの継続した取組は大きな価値のあるものであり、記憶として、そして記録として、これからは引き継いでいかなければならないと考えます。また、引き継いでいくための方法の検討も必要であると考えます。

先が見えない新型コロナウイルス感染症拡大への対応等、今年度はこれまで以上に大きな課題を抱え



でのスタートとなりました。予定されている大会や会議も、本総会の中止同様、その開催についてどうなるかわかりません。また、来年度は、盛岡市を会場として、第71回東北地区中学校長会研究協議会岩手大会の開催が予定されており、その準備も進めていくこととなります。このような時だからこそ、市町村や各地区・地方はもちろんのこと、県としても一枚岩となって、叡智を結集し、力を合わせる岩手

県中学校長会を目指して参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

結びとなりますが、岩手県教育委員会並びに各市町村教育委員会をはじめとする関係諸機関、関係各位におかれましては、これまでと変わらぬ大所高所からの、ご指導ご支援を賜りますようお願いを申し上げ、挨拶といたします。

## 退会者代表あいさつ

### 困難な時であるからこそ

前岩手県中学校長会長  
小野寺 昭彦



多くの困難な課題に直面する中、33名の新入会員をお迎えし、菊池正樹新会長のもと、令和2年度岩手県中学校長会が確実にスタートできましたことに、3月末をもって退会しました38名を代表し、心からお喜びを申し上げます。また、これまで目標を一にし、共に歩みながらご支援ご協力をいただきました会員の皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、昨年度末から大きな課題となっている新型コロナウイルス感染拡大防止のための取組は、私たちにこれまで経験したことのない判断を求めてきています。4月以降も様々な場面で判断し着実に取り組んでこられている皆様方には本当に頭が下がります。私たちは、人と人との関わりの中で子どもたちを育てることを大切にしてきました。その関わりを制限する判断をしなければならないというのは非常に難しく苦しいことだと思います。

判断する上で何より大切なことは、校長自身が納得できる判断をするということだと思います。納得できる判断をするためには、自身の哲学を深めるとともに判断の根拠となる情報が必要になります。そのために、自ら「つながり」を求め、その「つながり」の中で哲学を交流したり、必要な情報を集めたりすることが大切であると考えます。様々な形での「つながり」は、やがて心の「つながり」となり信頼に結びついていきます。困難な時であるからこそ、ベテランの校長、転入してきた校長、新任の校長が、市町村、地区・地方、県、東北、全国という校長会の組織において、より強固な縦横の「つながり」を構築しみんなで取り組んでいくことが重要であると考えます。

現在、全面実施を目前に控えた新しい学習指導要領への対応、部活動の在り方や働き方改革についての対応も含め、様々な課題が山積する中、来年度は、東北地区中学校長会研究協議会が、令和6年度には全日本中学校長会研究協議会が岩手県で開催されることとなっております。未だに先行き不透明な状況にありますが、これまでの経験をもとに「つながり」を通して英知を結集し、組織としての力をさ

らに高めていくことで、この難局を乗り越えてほしいと願っております。微力ではありますが退会者も支援し応援して参りたいと考えております。

結びに、岩手県中学校長会の益々の充実と発展をご期待申し上げ、退会にあたっての挨拶とさせていただきます。

## 令和元年度末退会者

No.	地区	学校名	氏名
1	盛岡	盛岡市立下橋中学校	小野寺 昭彦
2	盛岡	盛岡市立下小路中学校	大林 裕明
3	盛岡	盛岡市立河南中学校	岩崎 雅司
4	盛岡	盛岡市立仙北中学校	佐藤 亥壱
5	盛岡	盛岡市立大宮中学校	千葉 康彦
6	盛岡	盛岡市立土淵中学校	畠山 雅之
7	盛岡	盛岡市立城東中学校	千田 幸範
8	盛岡	盛岡市立北陵中学校	早坂 将
9	盛岡	盛岡市立松園中学校	伊東 健
10	盛岡	盛岡市立北松園中学校	村上 淳哉
11	盛岡	盛岡市立玉山中学校	大越 千晶
12	岩手	岩手町立沼宮内中学校	菅原 雅之
13	岩手	岩手町立一方井中学校	中田 隆一
14	岩手	雫石町立雫石中学校	大倉 徹
15	岩手	葛巻町立江刈中学校	加藤 純
16	岩手	八幡平市立西根中学校	刈谷 友行
17	岩手	八幡平市立安代中学校	伊藤 喜代美
18	岩手	滝沢市立滝沢南中学校	小山 孝治
19	岩手	滝沢市立一本木中学校	佐藤 英晴
20	紫波	紫波町立紫波第二中学校	内田 興子
21	花巻	花巻市立花巻北中学校	吉田 靖雅
22	花巻	花巻市立南城中学校	小森田 孝道
23	和賀	北上市立江釣子中学校	柿崎 肇
24	和賀	北上市立和賀東中学校	畠山 敏
25	和賀	北上市立和賀西中学校	阿部 伊佐美
26	胆江	金ヶ崎町立金ヶ崎中学校	遠藤 宗俊
27	一関	一関市立一関中学校	福井 信夫
28	一関	一関市立桜町中学校	小野寺 孝
29	一関	一関市立巖美中学校	鈴木 利典
30	一関	一関市立花泉中学校	横田 一平
31	一関	一関市立東山中学校	鈴木 俊行
32	一関	一関市立室根中学校	熊谷 佳美
33	気仙	大船渡市立第一中学校	松高 正俊
34	気仙	大船渡市立日頃市中学校	金野 勝紀
35	気仙	大船渡市立越喜来中学校	岩崎 弘
36	釜石	釜石市立釜石中学校	川崎 一弘
37	宮古	山田町立山田中学校	佐々木 慶信
38	二戸	一戸町立一戸中学校	小野寺 一行



## 全日中総会～WEB総会として開催

第71回全日本中学校長会総会等の会議は、今般の新型コロナウイルス感染症対応として、WEB会議形式で行われました。

全日本中学校長会館（東京都港区）と各基地局（本県は盛岡市紺屋町の盛岡市勤労福祉会館内 岩手県中学校長会事務局）とを結び、5月20日（水）のWEB理事会に菊池正樹会長が、21日（木）のWEB総会に菊池会長と内村弘子副会長が参加して8議案について審議し、いずれも承認されました。

承認された議案は次のとおりです。併せて「宣言・決議」を掲載します。

- 1 令和元年度会務報告
- 2 令和元年度決算の件
- 3 令和2年度役員 の件
- 4 令和2年度活動方針の件



- 5 令和2年度予算の件
- 6 第72回全日中研究協議会開催地の件
- 7 第72回全日中研究協議会主題・分科会研究題の件
- 8 宣言・決議

### 宣 言

今日、我が国の教育は人格の完成を目指し、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる社会を創るたくましい日本人を育成する使命を担っている。

私たちは、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、新しい時代の中学校教育の課題に対応し、教育基本法をはじめとする関係法規、学習指導要領の趣旨を踏まえ、自らの責任において全日中新教育ビジョンに基づく学校からの教育改革を推進し、教育の真価を示さなければならない。

全日本中学校長会は、教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、新たな中学校教育の創造を目指し、国民の負託に応えることを宣言する。

### 決 議

第71回総会に当たり、以下の事項を決議し、その実現を期する。

- 一、人間尊重の精神に徹し、「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育に努める。
- 一、全日中新教育ビジョンを踏まえ、学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな身体の育成に努める。
- 一、現在の学校教育課題に即した研修を充実し、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
- 一、創意ある教育活動を展開し、家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため、人的措置をはじめ確固とした教育条件の整備・充実を期する。
- 一、「教科書無償給与制度」「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し、教育水準の維持向上を期する。
- 一、学校が担うべき業務の明確化・適正化をはじめ、学校の組織運営体制の見直し、教職員の意識改革等により働き方改革を推進し、新しい時代に求められる学校づくりに向けリーダーシップを発揮する。
- 一、東日本大震災をはじめ災害等により被災した地域の復興を期し、教育活動の充実に向けた支援と全国各地区・各学校における防災教育の充実に努める。

令和2年5月21日  
第71回全日本中学校長会総会

## 令和2年度 各専門部の活動

例年、総会後に各専門部の地区担当者会議をもち、運営・活動計画を協議していますが、本年度は総会が中止となったため、担当常任理事（部長）が中心となり、各地区担当とメール等で連絡調整を図りながら、事業を進めています。

各部担当常任理事から各専門部の地区担当者に対し、5月上旬に送付した活動計画の内容等について掲載します。（感染拡大防止対応等により計画が変更となっている場合があります。）

### 総務部

- 1 第71回全日中研究協議会和歌山大会について
- 2 第70回東北地区中研究協議会青森大会について
- 3 第57回県校長会研究大会花巻大会について
- 4 年間日程の確認について
- 5 会費納入について
- 6 日本教育会加入者名簿・会費納入について
- 7 基金納入について
- 8 全日中刊行物について
- 9 東日本大震災復興への支援対応について
- 10 その他（新会員の皆様へ）

◇部長 松葉 覚（下橋中）

るとともに、積極的な指導の在り方を考え、生徒の健全育成に資する。

### 2 事業の重点

- (1) 生徒指導をめぐる諸問題の調査及び研究  
県下各中学校における生徒の問題行動、学校不適応等に関する状況調査と考察
- (2) 「生徒手帳」の編集  
生徒手帳の編集と採用の促進
- (3) 生徒指導に関する情報交換
  - ①岩手県中学校長会生徒指導部地区担当者の情報交換会の開催
  - ②岩手県小学校長会生徒指導部との情報交換会の開催

◇部長 藤岡 宏章（黒石野中）

◇幹事 高橋 修（盛岡・見前南中）

寺澤 幸昌（岩手・西根中）

佐藤 嘉宏（紫波・紫波第一中）

### 研究調査部

各中学校長が学校経営上の課題や問題点を共有し、実践に関わる情報交換や交流を通して各校の学校経営の改善に生かすとともに、高等学校入学者選抜制度改革・高等学校再編への対応に生かすことを目的に、「進路指導推進状況調査」と「教育課程実施状況調査」を実施する。

◇部長 菅井 雅之（仙北中）

◇幹事 高橋 浩幸（盛岡・渋民中）

松本 隆（岩手・一方井中）

坂本 大（紫波・紫波第二中）

三浦 隆（盛岡・附属中）

### 広報部

#### 1 運営方針

県中学校長会運営方針並びに活動の重点に基づき、校長会の組織的活動や研究実践、会員個々の資質向上に資する情報提供に努める。

#### 2 事業の重点

- (1) 本県中学校教育の当面する課題及び教育の動向等に係る情報提供に努める。
- (2) 学校経営や資質向上に参考となる有益な情報提供に努める。
- (3) 県内各地区の活動状況や会員の声を紹介し、会員の相互交流に資する。

#### 3 事業の内容

- (1) 会報「県中いわて」を年間3回、会誌「岩手県中学校長会誌32号」を2月に発行する。
- (2) 県中学校長会のホームページの運用を進める。

#### 4 その他

\* 令和2年度全日中機関誌「中学校」掲載予定

7月号「わたしの納戸」釜石地区

9月号「私の学校経営」岩手地区

10月号「被災地特集」釜石地区

11月号「校長会だより」広報部

◇部長 鈴木 美成（大宮中）

### 行財政部

県下中学校の実態と各地区校長会の意見、要望を集約し教育諸条件の整備・充実を図るための資料とするとともに、調査結果を例年11月実施の「県教委への要望」での重点事項とすることを目的に、「行財政関係調査」を実施する。

◇部長 佐野 理（上田中）

◇幹事 村田 和代（盛岡・河南中）

三浦 猛雄（岩手・滝沢第二中）

福士 幸雄（紫波・矢巾中）

### 生徒指導部

#### 1 運営方針

県中学校長会運営方針並びに活動の重点に基づき、生徒指導上の諸問題を把握し、分析・考察す



## 令和2年度 新 会 員

No.	地 区	学校名	氏 名	前 所 属 職
1	盛岡	土淵	北田光志	山王小学校校長
2	盛岡	城東	鈴木裕樹	綾織小学校校長
3	盛岡	松園	内村弘子	滝沢小学校校長
4	盛岡	見前	藤村健一	伊保内小学校校長
5	盛岡	北松園	小石孝紀	田原小学校校長
6	岩手	西根	寺澤幸昌	久慈市教育委員会 学校教育課課長
7	岩手	雫石	藤澤崇	千徳小学校校長
8	岩手	江刈	高橋治	米内中学校副校長
9	岩手	川口	工藤靖夫	久慈湊小学校校長
10	岩手	一方井	佐藤利之	城西中学校副校長 ※R2.4.21逝去
11	岩手	滝沢二	三浦猛雄	金ヶ崎・西小学校校長
12	岩手	一本木	菊池千賀子	久喜小学校校長
13	岩手	姥屋敷	田村敦子	寄木小学校副校長
14	紫波	紫波二	坂本大	紫波町教育委員会 学校教育課課長
15	花巻	花巻北	佐藤敦士	西和賀町教育委員会教育長
16	和賀	飯豊	土井祐之	小川小学校校長
17	和賀	江釣子	菅原浩樹	崎山小学校校長
18	和賀	和賀西	渡邊工	夏井中学校副校長
19	胆江	金ヶ崎	高橋広明	軽米小学校校長
20	一関	蔽美	千葉豪	小鳥谷小学校校長
21	一関	舞川	野原勝博	松園中学校副校長
22	一関	興田	山蔭深思	大平中学校副校長
23	一関	東山	佐藤勉	栗林小学校校長
24	一関	室根	加藤健一	大船渡・第一中学校副校長
25	気仙	大船渡一	千葉浩之	船越小学校校長
26	気仙	綾里	村上亮	舞川小学校校長
27	気仙	有住	岩角聖孝	一方井中学校副校長
28	釜石	吉里吉里	浅沼寿典	遠野東中学校副校長
29	宮古	小本	古里康彦	軽米中学校副校長
30	久慈	夏井	門前雅紀	広瀬小学校校長
31	久慈	野田	勝部孝行	一関東中学校副校長
32	久慈	宇部	八重樫満	山田中学校副校長 ※R2.6.1~
33	二戸	一戸	工藤久尚	東水沢中学校副校長

## 令和2年度 県中役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	菊池正樹	厨 川
副 会 長	内村弘子	松 園
〃	多田喜夫	遠野東
〃	石橋和彦	大船渡
〃	伊茂野達哉	宮古・第一
監 事	佐藤智一	矢 沢
〃	狩原雅裕	一 関 東
〃	後藤康	奥 中 山
理 事	熊谷司	飯 岡
〃	工藤良二	松 尾
〃	山下彰	矢 巾 北
〃	中村哲	南 城
〃	多田喜夫	遠野東
〃	高橋信之	上 野
〃	大平優	江 刺 南
〃	鈴木秀行	千 厩
〃	石橋和彦	大船渡
〃	及川正宏	大 平
〃	伊茂野達哉	宮古・第一
〃	菊地理	久 慈
〃	前田稔	福 岡
評 議 員	田口秀樹	乙 部
〃	角掛忠浩	滝 沢
〃	坂本大	紫波第二
〃	高橋透	湯 本
〃	小向敏夫	遠 野
〃	八重樫仁	和 賀 東
〃	菊池俊二	衣 川
〃	藤原良治	大 東
〃	村上誠	末 崎
〃	米 慎司	釜 石 東
〃	菊地裕	宮 古 西
〃	小橋敏	長 内
〃	遠藤岳	軽 米
常 任 理 事		
〃 (総 務)	松 葉 覚	下 橋
〃 (研究調査)	菅 井 雅 之	仙 北
〃 (行財政)	佐 野 理	上 田
〃 (生徒指導)	藤 岡 宏 章	黒 石 野
〃 (広 報)	鈴 木 美 成	大 宮
〃 (中体連)	橋 場 中 士	下 小 路
〃 (中文連)	松 葉 覚	下 橋

## 第71回東北地区中学校長会研究協議会岩手大会に向けて

本年6月25、26日に開催予定であった第70回青森大会は中止（誌上発表）となりました。先行き不透明な状況ではありますが、令和3年度は「第71回東北地区中学校長会研究協議会岩手大会」を盛岡市において開催する予定となっています。その概要（案）は次のとおりです。

1	大会主題	「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」		
2	主催	東北地区中学校長会 岩手県中学校長会		
3	期日	第1日	令和3年6月24日（木）	理事会 開会式 全日中報告
		第2日	6月25日（金）	研究協議会（分科会） 記念講演 閉会式
4	会場	岩手県民会館 岩手教育会館		

開催まで1年余りとなった6月8日（月）、盛岡市勤労福祉会館において、第1回準備委員会を開きました。準備委員会は、県中学校長会役員に加え、開催地である盛岡市、隣接地区である岩手地区・紫波地区の各中学校長会役員のメンバーで組織し、この日は、開催要項、準備日程・組織、各部の作業予定等についての協議を行いました。



今後、本年度中の2回の準備委員会を経て、令和3年度初めには組織を実行委員会に移行し、6月の大会を迎えることとなります。

令和6年度には、盛岡市において第75回全日本中学校長会研究協議会岩手大会が開催される予定となっています。来年度の東北中岩手大会はそれに向けたプレ（リハーサル）大会として位置付けられます。東北中大会、全日中大会の成功に向けた、岩手県中学校長会の総力の結集が大いに期待されるところです。

### 準備委員会名簿

準備委員会	校長会役職		氏名	学校名	
委員長	岩手県中学校長会	会長	菊池正樹	厨川	
副委員長	盛岡市中学校長会	会長	熊谷司	飯岡	
総務部	部長	岩手県中学校長会	副会長	内村弘子	松園
	副部長	岩手県中学校長会	総務部長	松葉覚	下橋
	副部長	盛岡市中学校長会	副会長	田口秀樹	乙部
	副部長	岩手県中学校長会	特別常任理事	橋場中士	下小路
研究部	部長	岩手県中学校長会	研究調査部長	菅井雅之	仙北
	副部長	岩手県中学校長会	広報部長	鈴木美成	大宮
	副部長	盛岡市中学校長会	総務部長	坂下孝	米内
	副部長	紫波地区中学校長会	会長	山下彰	矢巾北
運営部	部長	岩手県中学校長会	行財政部長	佐野理	上田
	副部長	盛岡市中学校長会	生徒指導部長	藤岡宏章	黒石野
	副部長	盛岡市中学校長会	総務担当	高橋修	見前南
	副部長	岩手地区中学校長会	会長	工藤良二	松尾
事務局	岩手県中学校長会事務局 常勤書記		古里真美		
	岩手県中学校長会事務局 非常勤書記		高橋慶子		

## 第57回岩手県小・中学校長研究大会花巻大会について（令和2年5月18日付け）

- 第57回岩手県小・中学校長研究大会花巻大会について  
大会研究報告を作成し、これをもって第57回岩手県小・中学校長研究大会花巻大会の開催に替える。
- その他
  - 令和4年度第58回岩手県小・中学校長研究大会釜石大会については、予定通り開催することとする。
  - 大会参加費は徴収せず、大会要項作成に係る経費等については県小・中学校長会負担金より支出する。
  - 研究報告作成に係る日程及び手順については、実行委員会事務局より各地区校長会事務局宛別途連絡する。